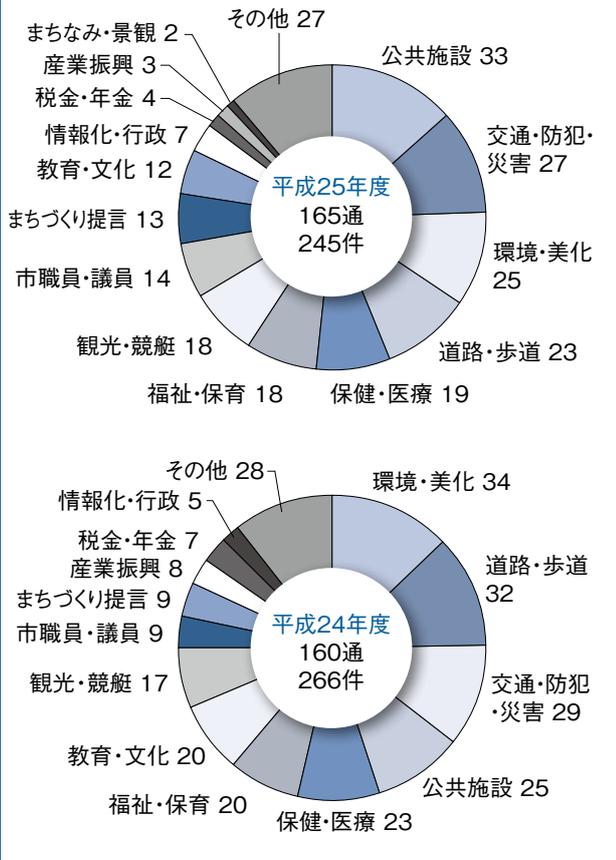


「市長への手紙」区分表



市内には16の公立保育園があり、平成23年度に改修した南部保育園を除いた15の園は昭和40・50年代に建てられ、築30～45年が経過しており、老朽化が進んでいるのが現状です。

24年度、「公共施設見直し検討委員会」を立ち上げ、公共施設の再配置について検討を行っています。今後50年間、公共施設



**保育園の老朽化が進んでいる。改善をお願いします。**  
 ※保育園以外にも、公共施設の老朽化については多くのご意見をいただきました。

設の現状の規模や数をそのまま維持していくと仮定した場合、おおよその数値ではありますが、建替に860億円、改修に340億円、合わせて千200億円の費用がかかる試算となり、市の財政状況を考えると大変厳しい金額であると感じております。

今後は施設の老朽化の具合、利用状況、ランニングコストなど実態調査を行います。見直し計画を考えるため、市民の皆さまに情報を公開して、行政と市民が一緒になって考えていくことが必要であると考えます。

また、信号機の設置については、交差する道路が公道である必要がありますが、現在は店舗の乗入道路になっているため、信号機の設置は出来ない状態です。

市としても重要課題であり、少しでも早期の4車線化を目指して、今後とも県に働きかけ協力していきます。

対策としては4車線化が考えられますが、県からは現在整備を進めている国道247号中央バイパス工事（イオン蒲郡店西側から荒子トンネル西側）が終了後、整備を検討していくと聞いています。



**カインズ・ベイシアの道路の混雑に困っている。何とかしてほしい。信号などは付かないのか。**



4車線化計画に向けて現地を確認する稲葉市長

おり、平成6年度以降達成できなかった来館者年間20万人を、23、24年度と、2年連続で達成しました。

今年10月には竹島ぱるく周辺で府相商店街や水族館が「たけしまるしえ」を開催。「彩まち」、よさこいイベントと併せて「竹島を思いっきり楽しむ一日」として盛り上げました。